

# 新年のごあいさつ



山都町長  
梅田 穰

新年あけましておめでとうございませう。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は町政運営に温かい御支援と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

昨年もコロナウィルス感染症の終息が見えない中での年越しとなりました。町民の皆様も不安と心配な想い的一年だったと心から御見舞いを申し上げます。町としましてはワクチンの接種をはじめ各種大会や会議・職場等で出来る限りの感染防止策を行っているところですが、今年こそは終息に向かって欲しいと願っております。

昨年二月末に突然ロシア軍のウクライナ侵攻による戦争が始まりました。多くの犠牲者と道路・港・鉄道・発電所・病院等の社会インフラが破壊され戦争の理不尽さをまざまざと毎日のマスコミ報道で感じています。一日も早く終息することを願っております。

コロナ、ウクライナ戦争、天安等による経済の混乱が続いています。町としましては国、県の支援策を十分に活用し、商業、観光業、飲食業、農業の皆さんに支援を進めて参ります。

11月5、6日に県立劇場において清和文楽とワンピースとのコラボ作品で

あります「超馴鹿船出冬桜」の公演があり多くの観客の方々に感動と興奮を感じていただきました。熊本県を始め多くの関係者の長い期間に亘る協力をいただき心から感謝申し上げます。地元清和文楽館での公演が出来るよう関係者の方々と協議を進めて参ります。

11月25日に、若者向け子育て住宅「おるりメゾンド浜町」が完成しました。多くの方々の応募をお待ちしています。

12月10日には九州中央自動車道、矢部清和道路の中心杭打ち式が行われました。待望の清和インターチェンジ(仮称)の建設も計画され地元民として大変嬉しく感謝しているところです。まずは、令和5年度中の「山都通潤橋インターチェンジ」開通を見据えた「新道の駅」、「通潤橋周辺整備」、「新体育館建設と運動公園整備」を急ピッチで進めて参ります。また、有機農業を核とした農業振興とSDGsの推進、オーガニック給食や学校施設の充実、義務教育学校設立に向けた協議を進め子どもから高齢者まで安心して暮らせる山都町づくりにも本年も取り組んで参ります。

町民の皆様にとりましてすばらしい一年になりますよう御祈念申し上げます。年の挨拶とします。



山都町議会議長  
藤澤 和生

新年あけましておめでとうございませう。令和5年の年頭にあたり山都町議会議を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから山都町議会に對しまして、温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症につきましては、ワクチン接種が進み、社会経済活動も回復の兆しが見えてまいりました。しかし、年末にかけて感染者数は増加傾向にありました。

また、物価の上昇に翻弄された一年でもありました。本年は、コロナ感染症の終息、物価の安定を期待するところです。

我が町のことを考えてみますと、過年度の災害に続き、令和4年9月に台風災害が発生しました。被害にあわれた皆さまに、あらためてお見舞いを申し上げます。

行政では、コロナ禍・物価高の中、町民の皆さまの命と生活を守るため、町独自の政策も数多く提案されております。議会としましては、その一つひとつに

つに議論を尽くし、適切な事業の速やかな実施に努めてまいります。災害についても、一日も早く復興できるよう望むところです。

大災害が起きますと、道路の必要性をさらに強く感じます。県道矢部阿蘇公園線、九州中央自動車道の整備促進のために、今まで以上に強く要望活動を展開してまいります。

新道の駅・新体育館・通潤橋周辺等の整備が急ピッチで進んでいます。賑わいを創出できる施設として、期待していただきたいと思います。

昨年は、およそ10の全国の市町村議会から山都町に視察にみえました。SDGs、有機農業、定住対策など、山都町の施策を研修されました。本町の施策が全国的に注目を集めていることを実感しました。今後も、町の発展につながる積極的な事業の展開を期待します。

山都町議会は本年も、町の事業や課題に真摯に向き合い、町民の皆さまの代表として、より暮らしやすい町づくりに努めてまいりたいと存じます。さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、町民の皆さまお一人おひとりととって、この一年が素晴らしい年となるようお願いいたします。